

最近受贈の

水に関する三名著(一)

日本水制工論

工學博士 眞田 秀吉 著

(岩波書店發行)

『方今河川水流を制御する工法頗る多しと雖も、本邦古來の工法は特に独自の進歩發達を遂げ、近時諸外國の河川に施工するものゝ内には、夙に本邦に於て發達を遂げたる工法を探れるものゝ如きを發見するは頗る欣快とする所なり。是蓋し歴世幾多の明君國主 名主等が歲月の久しきに亘りて經驗に經驗を重ね、無限の努力を費して大成したる結果にして、今日の學術に照し最も合理的なるを認むるが故なり。

就中吾人の最も注意すべきは、往古、甲斐、信濃及駿河國の水制工が著しき發達を示せる一事にして、而も四隣山岳を以て圍繞せらるゝ孤立の甲斐盆地に發祥したるは、所謂自給自足の國策の餘り發達を遂げたるものと解すべしと雖も、時恰も干戈に寧日なき戰國時代に於ける産物としては、治水史上特筆大書に値すべきものなり。

凡そ水制工の施設たるや一に水流状態を深く探求し、一定の原理に基きて之を施工するに非ざれば徒らに資を投ずるも、無効に終ること多し。左れば其任に膺るものは廣く古今の工法を研究すると共に内外諸家の所説を參酌するを要す。

本書は我邦古今の工法を舊記、新記により集録し、之を類別して各其沿革を識し、又現在施工せる實例を集め、之に實驗上の意見を見へ以て一般の研究と工事の發達とに資するを目的とす』

○

學識、經驗、境遇から見て、内務省東京土木出張所長たる眞田秀吉博士の著としては全然其人を得たもので 内容に就ては敢て蛇足を要しないが、菊判350餘頁中に精選された新舊の寫眞及圖版の多い事と、單位當材料勞力費表等を加へられた事も特色である。(菊判布表裝一冊定價320圓 神田區一ツ橋)

サージタンク

新井 榮吉 著

(正興館發行)

著者新井氏は目下 臺灣電力會社の日月潭發電水力工事の建設部長として渡臺中であるが、本書は東京發電會社及び大井川電力會社の建設工事を主管中に纏められたものである。サージタンクの設計々等は中々複雑したものであるが、本書により比較的容易にサージタンク設計算等の指針を與へられた事は斯界に對する一大貢獻であらう。著者は自序として次の如く述べられた。

○

『調整池には多くの場合水壓發道と Surge tank とが付き物であるが、Surge tank の合理的設計は其理論と計算過程とが比較的複雑難解ばかりでなく、其の結果に就て尙一抹の不安を除き得ないと云ふ歎聲は往々にして斯業に携はる技術家すらも口にするところであるが、之は本問題に關する専門的著書が極めて寥々たると共に Surging wave の本體と之を或程度迄に抑制すべき Surge tank 其者の構成理論に於て今尙未知數的見解に囚はれて居る者が尠くないことに由るものであると考へられる。

○

著者は茲に見る所あり、本著を以て先づ在來型式の Surge tank に關する設計方法を何人にも判り易く説述し、圖計算に依る的確なる計算等法を自己の實驗に立脚して詳述し、以て Surging wave の性質を明確に會得せしめ、更に進んで從來試みられなかつた新型式の捉唱及補助水槽と主水槽との複合理論、二個以上の水源を有する場合の設計方法を示し以て聊か時代の要求に應ぜむことを期した』

○

内容は七章二十四節に分れ、各節毎に計算法及圖表を付し、一々例題により解説を與へたものである。(定價6.50圓、牛込區下宮北町十五)